

誰かのために朗らかに挑戦しよう。

私たちの団体理念は「誰かのために朗らかに挑戦しよう」です。私が愛読する本の中で「教育の目的はこどもの幸福である」と紹介されていました。教育は、同僚や親・まわりの人たちの対話や関わりによって、自身の持つ潜在的な可能性や、他の人との対話を通して、差異を乗り越え、自身や他者の小さな可能性を互いに引き出し合い、共に成長する「共育」につながるものであるとありました。

この10年間、地域の人や保護者さん、1人1人のリーダーとして関わった若者、こどもたちの「共育」の物語がたくさんありました。1人が大きくなるには、何人もの人が関わり、関わった人たちも一緒に大きく成長していました。見えない可能性を引き出し「大丈夫だよ」と背中を押し、どうしたら「やってみたい」と小さく芽吹いた勇気を、「できた!」という大輪の自信に変え、生涯忘れることのない感動や人生のギアにするかを真剣に考えました。こどもたちの状況も、若者も地域も、千差万別。1人1人がこどもたちの成長のために向き合い動くことで、繋がり、自身も世界を広げて成長させてもらっている自分に気がつきました。

こどもたちや若者を真ん中に、彼らが「誰かのために朗らかに挑戦する」ことは、地域や社会をも動かし、世界を変える力になると感じました。社会全体が教育のために、こどもたちを真ん中にした社会になれば、未来は豊かなものになり、社会が豊かになります。私たちの活動は、そうした挑戦ができる環境を整え、また挑戦する人を支え、挑戦する人を作り、共に朗らかに挑戦し続ける活動であり続けたいと思っています。この理念を胸に立脚点に立ち、こどもたちやみんなで、勇気を出して、共に成長し、いつも支えてくださる方への感謝を忘れずに、希望や歓喜が溢れる社会を私たちが先頭を切って作るということを10年を迎えた今日、改めて決意させていただきます。